

令和元年 5 月 13 日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

文部科学省採択事業「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」
FCyFINE シンポジウムの開催について

本学では、平成 29 年 9 月に文部科学省から「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の採択を受け、山梨県や企業等と協働で、本学と地域に蓄積された燃料電池技術の強みを更に発展させ、事業化を推進する「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」プロジェクトを実施しています。

このたび、本事業の取り組みを広く社会に発信するためシンポジウムを開催し、今後到来する水素社会に向け、世界各国の水素・燃料電池産業の政策・動向や地域発の事業の事例を紹介します。

つきましては、当日の取材方よろしくお願いたします。

※FCyFINE : Fuel Cells Yamanashi Frontier for Innovation and Ecosystem

記

日 時 : 令和元年 5 月 22 日 (水) 14:30~17:20

場 所 : ベルクラシック甲府 (山梨県甲府市丸の内 1 丁目 1-17)

※別添の案内を参照願います。

※ 地域イノベーション・エコシステム形成プログラムとは

地域大学のコア技術等を核に、地域内外の人材や技術を取り込み、グローバル展開が可能な事業化計画を策定し、地域の成長と共に国富の増大に資する事業化プロジェクトを推進することにより、日本型イノベーション・エコシステムと地方創生を実現するものです。

※ 事業概要

本事業は、電極触媒、ガス拡散層 (GDL) 一体型金属セパレータ、触媒層付き電解質膜の製造など、山梨大学と地域に蓄積された燃料電池技術の強みを更に発展させ、新たな燃料電池スタック及びシステムを創出し、電源及び燃料電池自動車等への展開を図ります。また、地域内外の企業と連携し、今後到来する水素社会に向けた事業化を推進します。事業化プロジェクトとして、①電源用燃料電池システム事業、②燃料電池自動車向け、GDL 一体型金属セパレータ供給事業、③新規の触媒層付き電解質膜製造装置事業、を実施しています。

(事業・シンポジウムに関する問合せ先)
山梨大学 水素・燃料電池技術支援室
TEL : 055-254-7098
E-mail : hfc-info@yamanashi.ac.jp
(広報担当)
山梨大学 総務部総務課広報企画室
TEL : 055-220-8006
E-mail : koho@yamanashi.ac.jp

水素社会に向けたやまなし燃料電池バレーの創成

FCyFINE シンポジウム2019

シンポジウム&懇親会

2019年5月22日(水)14:30~18:45

山梨県甲府駅前 **ベルクラシック甲府**にて開催！！！！

【シンポジウム概要】

● 来賓・主催者あいさつ (14時30分~)

● 講演会 (14時45分~17時20分)

I : FCyFINEの取り組み

① 「世界の水素・燃料電池動向」
みずほ情報総研 & テクノバ

② 「FCyFINE事業の取り組み概要と現況について」
永田事業PD 各PJ代表者

II : 地域発事業化の取り組み事例

① 地域イノベ他事例: 「新評価技術によるMn系Li電池開発と産学官連携による事業化」(東北大学・宮城県:伊藤努事業PD)

② 県内企業事業化事例: 「失敗を強みに！！医療機器事業へのチャレンジ！！」(山陽精工(株):白川太社長)

● 懇親会 (17時25分~18時45分)

参加費:無料

(懇親会は会費4000円)

2018年度開催の様子



➤ 水素・燃料電池分野のみならず、わが国における最先端産業分野においてイノベーションを起こしていく、その取組を実感できます！！

➤ 事業化に関心のある人には極めて有益！！



山梨県外からの参加大歓迎！！



「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会HP」からもお申込用紙をダウンロードできます。参照 (QRコード)

※ 「地域イノベーションエコシステム形成プログラム」とは大学が持っている技術を地域と連携し、深化させれば事業性があるものに対して、そのプロセスに対して文部科学省が支援する補助事業。山梨県と山梨大学は「水素社会に向けた「やまなし燃料電池バレー」の創成」というテーマで採択。プロジェクト名を「FCyFINE」として推進中。